

紀中エリア

有田市・有田川町・湯浅町・広川町
御坊市・由良町・日高町・日高川町
印南町・みなべ町

山間部を激しく蛇行しながら紀伊水道に流れ込む有田川と日高川。両流域に広がる紀中地方は温暖多雨の恵まれた立地条件を生かし、温州みかん、梅の栽培が盛んに行われています。海岸部は典型的なリアス式海岸で風光に優れ、好釣場や海水浴場があり、スポーツ、レジャーの宝庫です。

年間平均気温 15.8℃
観測地点/川辺
(2008年気象庁観測データ)

手つかずの自然と懐かしい風景に出会おう!

白崎海洋公園

【由良町】
mapC-1



万葉の時代からの景勝地で、日本の渚百選に指定されています。白い岩肌を見せる奇岩が点在する印象的な海岸美で、青い海と氷山のような白い岩のコントラストが美しく絶好のロケーションです。白い海岸の突端にはスキューバダイビングやキャンプのスポットとして人気の白崎海洋公園が整備されています。また、漁船に乗って海から美しい海岸美を眺める白崎クルーズも楽しめます。

由良町大引 0738-65-0125 (白崎海洋公園) 8:00~17:00
休無休 入場無料、体験ダイビング15750円
JRきのくに線紀伊由良駅からバス白崎西下車、徒歩約30分
※白崎クルーズ 0738-35-2298 休水曜休み
料Aコース大人1200円、小人700円、Bコース大人1500円、小人900円

有田川の鶺鴒

【有田市】
mapA-2



有田川の夏の風物詩の鶺鴒。600年余り前に木曾川上流犬山より伝えられたといわれ、毎年6月~9月初旬に、鶺鴒が松明をかざしながら鶺鴒と一体となって鮎を獲る光景が見られます。「徒歩漁法」と呼ばれる漁法は県無形文化財に指定されています。

有田市星尾 0737-83-1111 (有田市観光協会)
JRきのくに線紀伊宮原駅から徒歩約3分

湯浅の町並み

【湯浅町】
mapB-2



醤油発祥の地として栄え、古き良き時代の面影を今にとどめる湯浅町。とりわけ北町・鍛冶町・中町・浜町境界には江戸末期から近代にかけての伝統的な家屋が数多く残り、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されています。

0737-63-2525 (湯浅町観光協会)
JRきのくに線湯浅駅から徒歩

あらぎ島

【有田川町】
mapA-4



有田川の蛇行に沿って大小54枚の水田が扇状に広がる棚田で、長い年月の浸食作用によってできた自然の造形です。1996年に「美しい日本の村景観コンテスト」で農林水産大臣賞受賞、1999年には「日本の棚田百選」に選定されました。

有田川町清水 0737-25-1111
(有田川町清水行政局産業課)
JRきのくに線藤並駅から徒歩約3分

紀州鉄道

【御坊市】
mapD-2



御坊の街を自転車ほどの速度でのんびり走るかわいい電車、紀州鉄道。御坊駅から西御坊駅間の路線全長がわずか2.7kmの日本有数の超ミニ鉄道です。1931年の開業以来80年近く、今もカタンコトンと懐かしい音色を響かせています。

0738-23-0001 (紀州鉄道)
JRきのくに線御坊駅から徒歩(乗り換え)

道成寺

【日高川町】
mapC-2



「安珍と清姫」の悲恋物語の舞台として有名な道成寺。文武天皇勅願寺として701年に創建されたこのお寺は和歌山県内に現存する最古(室町時代再建)の寺です。縁起堂では道成寺絵巻説法を受けることができます。

日高川町鐘巻 0738-22-0543
9:00~17:00 団体観料:大人(中学生以上)600円、小学生300円 ※説法含む
JRきのくに線道成寺駅から徒歩約5分

南部梅林・岩代大梅林

【みなべ町】
mapE-3

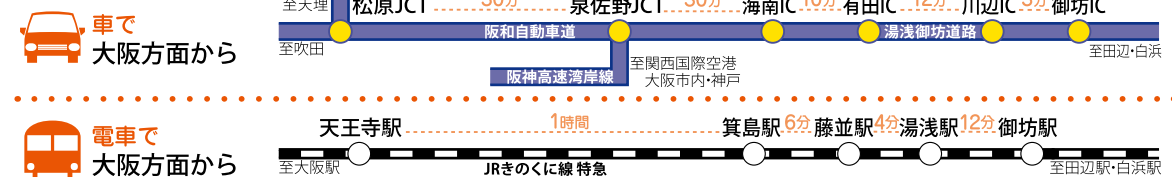


「一目百万、香り十里」といわれ日本一の大きさを誇る南部梅林。小高い山頂から見渡す限りの梅の花の大パノラマが広がる岩代大梅林。花の咲き揃う2月中旬にはあたり一面に梅の香りが漂います。

みなべ町 0739-72-4949 (みなべ観光協会)
JRきのくに線南部駅から徒歩約15分



Access



醤油

今や世界の「SOY SAUCE」として国際的な調味料、醤油。湯浅町はこの醤油の発祥地です。鎌倉時代に高僧によって中国から伝えられた徳山寺味噌がもとで誕生し、江戸期には紀州徳川家の保護を受けて100軒近い醤油屋が軒を並べていました。



有田みかん

有田みかんが出回るの一般的に11月頃。この頃のものは早生みかんので皮が薄く甘みが強いのが特徴。12月になると中生・晩生などのみかんが出回り、1月中旬頃まで美味しいみかんが食べられます。5月にはみかん山一面が白い花と甘い香りに包まれます。

梅干

梅干の中でも最高級品である「南高梅」の日本一の産地がみなべ町です。梅栽培の歴史は古く、江戸期に紀州藩が栽培を奨励したのが始まりです。毎年1月下旬から2月下旬にかけて「一目百万、香り十里」といわれる白い花の露が周辺の山々を包みます。

